

10/9(祝)大阪淀川区 自敬寺 モンゴル・チベット 祈りの夕べ

チベット仏教のモンゴル人高僧
アジャ・リンポチェ法話会



アジャ・リンポチェ来日を記念し 10月9日(祝)大阪 自敬寺にて 法話会を開催いたします

チベット仏教とは何か、モンゴルとの繋がりとは？
そして、観音菩薩とは…。

■日時：10/9(祝) 18:30～20:00 (受付は18:00～)

■場所：自敬寺 大阪市淀川区西三国 2-12-43

最寄り駅は阪急宝塚線 三国駅 (徒歩10分)

または 御堂筋線 東三国駅 (徒歩13分)

■テーマ：「観音菩薩にちなんだお話」

■通訳：ミンガト・ボラグ (モンゴル語～日本語)

■会費：お一人様 1,000 円



Tibetan Mongolian Buddhist Cultural Center Japan

チベット・モンゴル仏教文化センター

会費のお問合せ 050-5215-6040

ARJIA RINPOCHE

1950年、チベット東北部フノール(現中国青海省)のモンゴル遊牧民の家に生まれ、2歳でチベット仏教ゲルク派創始者「ツォンカパ大師の父」の転生者と認定される。

クンブム寺で僧院長としての教育を受け、ダライ・ラマ14世やパンチェン・ラマ10世からも直接教えを授かった。

文化大革命を経験しながらも、仏典研究や寺院改革に取り組む。地域の災害対策、伝統医学の継承、初等教育の充実などにも尽力し、モンゴル人、チベット人を問わず、広く信仰を集める。1998年、米国に亡命し「慈悲と智慧のチベットセンター」を創設。また、ダライ・ラマ法王の長兄タクツェル・リンポチェ創設「チベット・モンゴル仏教文化センター」センター長も務め、世界中に仏教の教えを広める活動や、宗教の枠を超えた平和活動も行っている。



会場は **黄檗宗 自敬寺**

奈良時代、天平勝宝年間(749～756年)に行基によって創建され、江戸時代の享保年間(1716年)に黄檗山の禅僧「暁雲禅師」が再興し禅寺になりました。

〒532-0006 大阪市淀川区西三国2-12-43

- ・阪急宝塚線 三国駅 (徒歩10分)
- ・御堂筋線 東三国駅 (徒歩13分)

